

平成24年度東部地域大学連携公開講座

東区を知ろう

歴史と文化



提供：福岡市

日時 11月9日・16日・30日・12月7日 金

13:00～14:30 全4回

(第4回のみ16:30終了予定)

参加費
無料

場所 福岡女子大学視聴覚室

(福岡市東区香住ヶ丘1-1-1、正門左手 附属図書館1階)

お申し込み方法

往復はがき・Fax・E-mail のいずれかに、氏名(ふりがな)・住所・電話番号・年齢を記入の上、下記までお申込みください。

※Faxの場合は、Fax番号もご記入ください。お電話でも受け付けております。

※ツアーは、定員になり次第受付を終了いたします。 定員200名

第1回 11月9日(金) 13:00～14:30

「古代の北部九州と糟屋屯倉」

松木俊暁 非常勤講師 (福岡工業大学 社会環境学部)



福岡市東部地域を含んだ旧糟屋郡の前身と考えられる糟屋屯倉をとりあげます。6世紀初頭に北部九州で起こった大規模な反乱・磐井の乱の結果、朝廷の直轄領である屯倉が糟屋の地に設置された、と日本書紀は伝えます。この屯倉や、関連する氏族を通して、古代におけるこの地域の位置づけや、ヤマト政権との関係を考えます。

第2回 11月16日(金) 13:00～14:30

「奈良時代初期の香椎 -香椎廟奉拝時の歌を中心に-」

月野文子 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)



『万葉集』巻六に載る大伴旅人らの香椎廟奉拝時の歌について、詠作時の状況などを推測してみましょう。

7・8世紀の人々にとって、「香椎」近辺はどのような土地柄として理解されていたのでしょうか。「万葉集」の歌を中心に、「古事記」なども織り交ぜて、このことを探っていきます。

第3回 11月30日(金) 13:00～14:30

「北部九州の神功皇后伝説と 香椎宮」

須永敬 准教授 (九州産業大学 国際文化学部)



北部九州には、異国との戦いの伝承、安産の伝承、占いの伝承など、多くの神功皇后伝説が伝わっています。本講演では神功皇后伝説の一大中心地としての香椎宮をとりあげ、その信仰と伝説がどのように生まれたのか、その後、香椎宮の信仰と神功皇后伝説が北部九州にどのように広まったのかを考えてみたいと思います。

第4回 12月7日(金) 13:00～16:30

「東区の歴史を巡るツアー」

講義に関連した場所を、実際にバスで巡ります。

予定：香椎宮、香椎宮頓宮、不老水、名島帆柱石

先着
40名

お申込み
お問い合わせ先

福岡女子大学 地域連携センター
女性生涯学習研究部門

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

Tel : 092-661-2728 (直通)

Tel : 092-661-2411 (代表) FAX : 092-661-2420 E-mail: rcle@fwu.ac.jp